

11月号

いっしん

平成29年(2017年)

第394号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653

Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

われよしと
思う心は
知恵の行きづまり
怪我過ちも
そこよりぞ来る
甘本親教会
初代教会長
安武松太郎師御致



教主金光様 お退けお見送り 9/30…1



途中の乗車場所、人吉駅前 9/30



御本部

生神金光大神御大祭

参拝

野にはハギの花が咲き名月も待たれる九月三十日(土)から十月一日(日)にかけて、御本部生神金光大神御大祭参拝におかけを蒙らせていただきます。

このたびの御本部参拝は、十月一日(日)に始良市内の小学校の運動会でありましたので差支えのある人もあったようですが、鹿児島県中部・北薩地区と熊本県球磨地区の皆さんと一緒にマイクロバスなどで参拝のおかげを蒙らせていただきました。

この両日、西日本一帯が好天気恵まれた中に運動会が開かれていたためか、高速道路を利用しての行楽客が比較的少なく車も込んでいませんでしたので、御本部到着が早く金光様のお退けお見送りに間に合うことができ、帰途も予定より早く帰り着くことができました。

三十日のお退けには、教主金光様(御五代金光平輝様)のお元気なお姿にお目にかかることができました。

御本部生神金光大神御大祭参拝…P1~2
加治木教会生神金光大神御大祭…P3~4

「年代別キャンプ」 S御用報告…P7
「めぐり」…P6 行事予定…P8



翌十月一日のご祭典では、教主金光様のご命により、ご長男の浩道先生がご祭主をお仕えになられ、麗しくご祭典がお仕えになりました。

「ご祭詞では「祖生神金光大神様の御徳をお称え申し、永世行き通しの取次の神とお立ちになられたその働きを現代に受け現していく」ことをはじめ「平成二十八年熊本地震、九州北部豪雨などの諸々の災難で被災された方々の安心、立ち行き」をご祈願申し上げる内容を「ご奏上くださいました。」

「ご祭典前のご教話では、富山県石動教会の宮田美子先生が「信じた先に」という講題でお話をされました。

お話しでは「地域の自治会の役で、役立つのも神様にお願いしながらさせていただくことの大切さ」や「学校でいじめに合っって教会を訪ねてきた少女に、大空に高く上がる風は強い風を受ければ受けるほど高く上がるんだよ、と話したことがきっかけ

に、生き方が変わっていくことができたと」ということをはじめ「神様の間違いのないお働きを信じて、お取次下さる先生の祈りを受けて行く生き方が大切」という尊いお話でした。また、宿泊はご霊地の「光風館」でしたので、朝は金光様のお出ましをお迎えをさせていただき、朝御祈念にもおかけを蒙らせていただき、その後には修徳殿で開かれた「朝の集會」でもご講話を聴かせていただくことができ、ありがたいことでした。

「朝の集會」の講師は、大分県大鶴教会の江田 泉 先生でした。

昨年秋に鹿児島地方教会連合会「青年のひろば」にお出で下さり「熊本地震復興支援活動の現状とこれから私たちは何をなすべきか！」というテーマでお話し下さった録音講話を往路のマイクロボス車中で聴かせていただき、予習をさせていただきましたので、いっそう意味深く拝聴させていただくことができました。

お話しでは、九州北部豪雨で被災された大鶴教会の当日から今日までの支援活動に対する御礼と、被災の状



大分県大鶴教会 江田 泉 先生

とても三十分でお話しできそうでは、ありませんでした。

況などの報告をされました。江田先生の熱いご信心の眼で観てご体験されておられるご内容は、



ご霊地「修徳殿」で朝御祈念後に開かれた「朝の集會」 10/1

加治木教会

生神金光大神御大祭

仕えられる

十月二十二日(日)加治木教会では、生神金光大神御大祭が仕えられました。

前日から信奉者の皆さんが準備の御用に当たられ、清掃をはじめ、お直会の下ごしらえ、お広前の小旗張りや下足箱の準備などの御用が奉仕されました。

当日も、朝早くからお直会のお弁当も諸準備も、手際よく進められ、午前十一時からご祭典が仕えられました。

ご祭詞では、教祖様のお徳を称え、教祖様が現わしてくださった永世生きどおしの生神金光大神取次をあらためて頂き、私たちもその働きを現していくことを祈願させていただきました。また、ご祭主玉串奉奠に引き続き、参拝者の代表が玉串を奉奠させていただきました。



お直会の下ごしらえの御用 10/21

祭典後のご教話は、大口教会長安武先生でした。(以下要旨)
信心はおかげの受けたことを忘れてはならない、信心がマンネリ化してくると、おかげに胡坐をかいて、先祖や親、自分が受けたおかげを忘れることが多い。

教典の津川治雄の伝えには「おかげを受けるのに巧者がある。だれでもおかげをいただいたら、そのありがたいうことをいつまでも忘れないようにせよ。それを忘れたら、もういけない。後のおかげはいただけない。それさえ忘れなければ、おかげは思うようにいただける」とあります。

甘木教会初代安武松太郎先生の布教当初の信者、平田長兵衛と言う方が、信心を始めて病気のおかげを蒙られ、初めて御本部に参られて大変な感動を受けられ、ありがたくてありがたくてしょうがない思いをされました。

しかし、あるときから五年間、御本部団体参拝の頃になると困った事が起きるなどして都合がつかないようになられ参拝ができなくなっ

まわれしました。

再び団体参拝のおかげを頂きたいと思われ、初代に、そのことを話し、よく考えてみられますと「最初の内は、借金状態で苦勞している中でも、ありがたくてしようがない思いで参拝していましたが、寿司詰め状態の夜行団体列車での参拝の途中、ふと、私のような年寄りにはこんな大変な参拝で荷物主任の御用にも当たっているが、暇なときにゆっくりと一人で参らせていただきたいものだと思っただけがありました。」ということ、そのことに対し初代は「わかった、あんたが最初おかげを受けてありがたかったことを忘れてしまったので、神様はあなたの願い通りに、団体参拝のおかげを頂けないようにしてください。改まらせたのじゃ、お詫びを申し言葉で、改まっていけませんと再び団体参拝のおかげを受けられ立ち行くようになられたそうです。

というお話



大口教会長 安武秀信先生

しをもとに、いくつかの例話を挙げて「甘木の初代のような、いつまでもおかげをいただき続けることのできる信心」ということについてお話下さいました。(ご教話のCDを希望される方は教会までお知らせ下さい)



参拝者代表の玉串奉奠



「御大祭前信行期間」には、早朝から朝御祈念の研修ビデオを拝聴する

また、十月四日から二十日までの約二週間「御大祭前信行期間」が設けられ、朝御祈念参拝などに取り組ませていただきました。信行期間中、朝御祈念後の研修教材は、インターネットで配信されています御本部の御大祭や月例祭の教話のビデオを拝聴・拝観させていただきました。大変貴重な信心の勉強をさせていただくことができました。参拝者はけっして多くありませんでしたが、深く尊いご教話ばかりでした。

「めぐり」について

(矢野 章)

病氣・災難・事故・トラブルなどの難儀となって現れてくる「めぐり」は、親神様の深い深いご慈悲・ご愛情・ご期待を込めての投げかけではないでしょうか。

安武松太郎教話集第十集を拜読させていただくと「信心を始める前、めぐりの敵と悪戦苦闘した」と、いろいろな災難にお悩みになられたことをお話になってあります。

「めぐり」は、天地のご恩を知らないこと、天地のみ心や人の心を傷つけること積み重ねで、知ってのこともあり、または知らず知らずの間に積み重ねていくものであります。自分の目前の利益とは直結しないため、神様や人に対し、だれもが、その多少・浅薄の差はあっても「めぐり」を重ねてしまうことがあります。

しかし、信心している方の中には「御礼・喜びの信心生活」「自分のことよりも人のことを先に願う」にこ

ころがけ「めぐり」とは反対の「徳」を多く積んである方もあります。そのような方は実に多いことです。

また「信心は過去の清算」とも教えてあり、先祖代々重ねてきてしまった「めぐり」が多い場合、「借金」を「清算」するように、まず「めぐり」の「清算」に取り組み、眼に見えない重荷を降ろして身軽になっていくことを教えてあります。

そのように、私たちは信心を進めて「めぐり」の「清算」に取り組んでいるのに、時には「信心をしておりながらどうしてこんな災難（病氣・事故・トラブルなど）に出逢うのか」ということがあります。

そんなときに私たちは「めぐり」やときには「信心」ということまで、どことなく「辛い」「大変だ」「へいつまでこんなことを……」と思いがちになっていませんか？

実は、天地の親神様は、自身に起こってくることをすべてできごとを通して私たちの信心が育ち幸せになることを、いつも見守り、祈り通し、深いご愛情をもって、ご期待下さっているのですから、私たちはどんな

災難に出逢っても「神様を絶対に信じ、敬い、真の喜び・感謝を奉り」、心を曇らせ肩を落とすような気持ちになる必要はないのです。

災難があるというのは、神様がへどのようなことに遭遇しても信心がぶれないように大きく育ててくれ、いっそう打ち込んだ信心をして、どのような大きな災難に対してもその受け取り方を間違わないように、そのことを通して神は何を教えようとしているのか、どのように大きく育てて行こうとしているのかを間違わないように教え導くようになってくれ」と、大きなご期待を込めての投げかけであり、祈りかけなのです。

「めぐり」の現れは、親神様の深いご慈悲・ご愛情・ご期待の現われで、世の中の常識や感情では「悲しみ」となってしましますが、信心の眼で見ると「信心の成長をはかることができる」「喜びの資源、あるいはエネルギー源でもあるのです。

年代別キャンプ報告②

矢野裕子

(少年少女会連合本部主催のアドベンチャーキャンプにスタッフとして御用 8/25~5)

サイクリングから帰ってきて翌日の活動は、今年のメインプロジェクトになる蒜山登山。蒜山高原縦走についての講義を受けた後、班長会議。この日、気のゆるみが事故となっている事に気付かされ、最後まで気を抜かず翌日の活動にも十分に気を付けること、教えられたことはしっかり守ることなど、反省点の指導を受け、翌日に備え参加者もスタッフも早めの就寝についた。

八月四日、晴れ。今年のアドベンチャーキャンプのメインの活動日。登山蒜山高原縦走。朝食を十分に取り、野営場を出発。バスで移動中に蒜山が見える。下蒜山入口に着き、ストレッチをして入山。午前中の空は晴れ、所々に雲があり下蒜山の頂上には予定時刻に到着、休憩。前日に怪我をした隊員の傷が悪化するようなこともなく、他の隊員も体調に悪いところもなく一安心。次に、中蒜山を目指し登山再開、途中頃合いを



矢野裕子さん

見て昼食を取る。下蒜山頂上から中蒜山頂上までの道で徐々に気温は上がり、蒸し暑くなり参加者の体力を奪っていった。中蒜山目前で体調不良者が出て、そのまま半数が断念、中蒜山から下山。



残り半数は上蒜山まで登りきり下山。下山してから段々と体調不良者の体調も戻っていき、この登山で誰一人怪我や命に別条なく帰ってきたことが、何よりのおかげだなと感じた。大難を小難に、小難を無難にしてくださった神様のお働きに感謝。

下山後入浴。登山で時間が押ししてしまい、営火ではなく晚餐会という形でスタッフ参加者合同で夕食をいただく。元々はグループファイヤーを行う予定だったので、多少形は違うが精神的交流を重視したく、私から参加者に二つ質問をした。

まず一つ目は、なぜ年代別キャンプに参加しているのか、キャンプに参加する理由とは何なのか。そして二つ目は、自分はどうのような人間になりたいのか。

一つ目は、私はまだ参加者側だった時にされた質問で、二つ目は、これから社会に出て行く年代の参加者に、なりたい自分を良く考える時間をもっと増やして欲しかった。願ったの質問だった。

二つ目の質問の返答で「世のお役に、人のお役に立つ人になりたい。」

と参加者の過半数が口を揃えたように言っていた。改めて信仰のあるところで育つ者が集まっていることを実感した。ああ、これが「お道のわかば」なのかと…。

青少年育成に携われるこの御用のお役目を頂けることを有難く思った。最後の夜、消灯時間を少し伸ばし、参加者は灯りを囲んでの回響を楽しんでいた。

今年のアドベンチャーキャンプは、スタッフにとっても体力勝負の活動や内容が詰まっっていて、十分な体力が必要なキャンプだったと思う。

本部に着いて解散式を行う際、最初受付で会った子たちとは違い、少し遅くなった姿の参加者を見て、やはり年代別キャンプは参加する側も、指導者側も色々学べて、楽しく両者とも育て頂ける貴重な時間と体験が出来ると改めて思った。年代別キャンプのスタッフの御用に携われたこと嬉しく思った。また、これからの道のわかばの成長が楽しみだ。

(おわり)

おめでとうございます

九月三日、大重

美知子さんのお

孫さんの美沙樹

(旧姓迫)さんが、

渡辺 剛さんと

ご結婚されました。末永いご多幸をお祈り申し上げます。

十月二十二日、内木場慎さん貴子

(旧姓前田)さんご夫妻に、長男一晟くんが誕生されました。お健やかなご成長をお祈り申し上げます。



あしあと 加治木教会行事記録

10月

(9月30(土)〜1(日))

3 (火) 清掃 御用 10時

4 (水) ●月例祭(報徳) 10時半

9 (祝) 清掃 御用 10時

10 (火) ●月例祭(注神金光 併せて) 10時半

15 (日) 人吉教会 御大祭 11時

18 (水) 龍笛練習 20時

21 (土) 御用奉仕 10時

22 (日) 加治木教会 生神金光大神御大祭11時

29 (日) 上荒田教会90年記念大祭 11時

31 (火) 清掃 御用 10時

ご霊神様のおまじり

十一月

小坂道夫 之霊	9日	平成24年
濱口タエ 之霊	11日	昭和12年
中村光志 之霊	12日	平成19年
大重為昭 之霊	13日	平成12年
吉屋アイ 之霊	14日	昭和56年
瀬尾清博 之霊	17日	昭和49年
大重愛子 之霊	20日	平成2年
中村ハル 之霊	21日	大正7年
桐野ハル 之霊	21日	昭和63年
金竹ナミ 之霊	24日	平成19年



「先祖の「霊神様の、現世・幽冥(かくり)生(び)のお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。」
教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。
鹿児島県は、日をあげず墓参りする習慣があり、どのお墓もいつも花を絶やさないように気をつけてあり大変良いことでもあります。ご先祖の霊様方も生死を通して天地の大神を恵まれてあることを代わりに御礼申し上げます。大安心のおかけを頂いていただきましょう。

十一月二十二日(水)午前十時半より
加治木教会

立教記念祭・新穀感謝祭

併せて 月例祭・共励会
※教話後、新米のお直会

十二月三日(日)・四日(月)

甘木親教会

生神金光大神御大祭

参拝

御大祭・記念祭

【11月】

- 5(日)西鹿児島教120年記念大祭 12時
- 11(土)大口教会 御大祭 12時
- 12(日)東郷教会90年記念大祭 11時
- 〃 鹿児島教会 御大祭 11時
- 19(日)志布志教会90年記念大祭 11時

教会行事

11月

- 1(水)●月例祭(報徳) 10時半
- 5(日)西鹿児島教120年記念大祭 12時
- 9(木)清掃御用 10時
- 10(金)●月例祭(生神金光)併せて(大神様)月例豊祭 10時半
- 11(土)大口教会 御大祭 12時
- 12(日)東郷教会90年記念大祭 11時
- 〃 鹿児島教会 御大祭 11時
- 19(日)志布志教会90年記念大祭 11時
- 21(火)清掃御用 10時
- 22(水)●月例祭(天地金)併せて(乃神様)共励会 10時半
- 併せて 立教記念祭・新穀感謝祭
- 26(日)少年少女会 秋の美りてピザ作り! 10時半
- 27(月)連執行部会 10時半
- 30(木)清掃御用 10時

加治木教会バンド練習会

日時は、随時連絡します。

熊本地震復興支援活動の「移動図書館おあしす」が開かれるときの、演奏奉仕のおかげを蒙らせていただきました。ましよ。被災地のみなさんの心を癒す演奏です!

12月

- 1(金)●報徳月例祭 10時半
- 2(土)・3(日)信徒部 教区委員会
- 3(日)●甘木親教会御大祭 第一日
- 4(月)●甘木親教会御大祭 第二日
- 9(土) 斎掃御用 10時
- 10(日)●生神金光(大神様)月例祭 10時半
- 〃 御本部布教功労者報徳祭(参拝は未定)
- 14(火)連布教協議会 10時半
- 21(木)斎掃御用 10時
- 22(金)●月例祭・共励会 13時半
- 〃 ●感謝パーティー 17時より
- 29(金)斎掃御用 10時
- 30(土)●越年祭 13時半

十二月二十二日(木)十七時より

少年少女会・信徒会

歳末感謝パーティー

会費 大人1000円・中学生700円・小人400円

…の予定です。(今のところ)